

10月  
2017 vol.148



おたより

# 議会だより

|              |       |
|--------------|-------|
| 補正予算……………    | 2～3   |
| 予算・決算特別委員会…… | 4～8   |
| 一般質問……………    | 9～12  |
| 各常任委員会……………  | 13～15 |

9/24 スカイエクスナイル in 南陽でのパラグライダー専用車椅子  
「スカイチェア-X」のデモフライト

議会ホームページ検索

南陽市議会

検索



# シニアカフェ支援事業等を補正 28年度一般会計決算 実質単年度収支3.8億円

## 9月 定例会

9月定例会は、9月1日～21日まで開会した。報告1件は、平成28年度南陽市健全化判断比率及び資金不足は、実質公債費比率12.3%、将来負担比率129.8%、資金不足該当無しとの報告があった。諮問1件は、任期満了に伴う人権擁護委員候補者（後藤勇吉氏）の推薦につき意見を求めるもの。同意1件は、任期満了に伴う南陽市教育委員会委員（小関文典氏）の任命について。条例1件は、南陽市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について。補正予算7件。決算認定8件の計19件すべてを、同意、承認、可決した。

一般質問者は8名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。（9～12頁参照）

補正予算では、決算確定に伴う財政調整基金、公共施設維持管理基金の積立、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン推進事業、老人福祉のシニアカフェ支援事業など4億6千万円余りを補正、補正後の一般会計予算総額は143億5千万円余りとなった。

28年度決算では、実質公債費比率、将来負担比率とも前年より改善した。また、単年度での実質的な収支が3億8428万円の黒字となった。

請願1件は、「地方財政の充実強化を求める請願について」は、付託された総務常任委員会での採択。本会議でも全会一致で採択し、国に意見書を提出することとなった。

## ホストタウン推進事業費

### 790万円

### ◎バルバドス国との実務協議と表敬訪問及び担当嘱託職員の雇用

7月に国の第4次ホストタウン登録を受け、中南米のバルバドス国との交流等を通じ2020年の東京オリンピックの事前キャンプ誘致等のスポーツ振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を目指す。

#### 【バルバドス国】

バルバドス国は、カリブ海、西インド諸島内の小アンティル諸島東端に位置する、英連邦王国の一國たる立憲君主制国家である。島国であり島全体が珊瑚礁で出来ている。海を隔てて約200kmの北西にセントビンセント・グレナディーン、南西にグレナダとトリニダード・トバゴが存在する。首都はブリッジタウン（出典：Wikipedia）  
人口28.4万人（2015年：外務省基礎データより）



バルバドス国の位置

29年度9月定例会  
一般会計補正予算

4億6,435万円  
補正後総額  
143億5,157万円

## 老人福祉事業費

### 1,136万円

### ◎シニアカフェ支援事業等

ハイジアパーク南陽内に高齢者の自主活動の場を設けて、交流、軽運動、健康指導等を通じて健康寿命の延伸や介護予防を図る。事業対象者である高齢者地域サロン、老人クラブの会員増強とその活性化を図る事業など。

## 中山間地域所得向上支援事業補助金

# 3,555万円

### ◎ぶどう貯蔵庫整備費(国県100%補助)

秋に収穫したシャインマスカットなどの大粒のぶどうを、価格が高くなるお歳暮やクリスマスの時期に販売できるように、JAが主体となり氷温で長期保存が出来る大型冷蔵設備施設を整備するもの。



シャインマスカット

## 戸籍住民基本台帳事務費

# 19万円

### ◎結婚証印刷製本費

今年10月以降、市に婚姻届を提出した方に、記念品として市オリジナルの結婚証をお渡しします。デザインは全4種類で、その中からご希望の1種類を選んでいただき、お二人の名前を記載して交付するもの。



## 市制施行50周年記念植樹事業費

# 114万円

### ◎吉野石膏の森植樹

「吉野石膏の森」を会場に植樹祭を実施する。オオヤマザクラの植樹箇所への土壌改良、及びシンボルツリーとして高木の植樹を行うもの。

## その他の主な事業

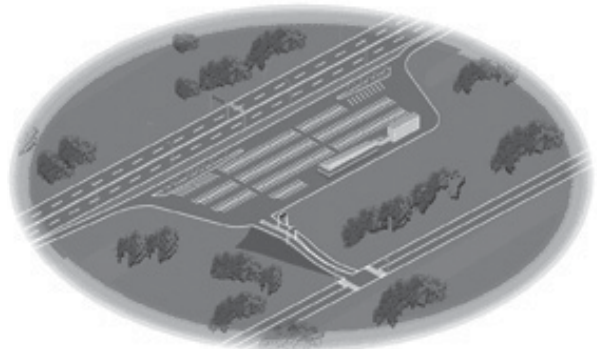
|                  |           |
|------------------|-----------|
| ☆財政調整基金積立金       | 1億9,325万円 |
| ☆公共施設維持管理基金積立金   | 1億6,284万円 |
| ☆国県補助金等過誤納金還付金   | 4,426万円   |
| ☆国民健康保険特別会計繰出金   | ▲226万円    |
| ☆介護保険特別会計繰出金     | ▲1,148万円  |
| ☆ハイジアパーク管理事業費    | 474万円     |
| ☆公園整備事業費(支障木伐採等) | 195万円     |
| ☆外国青年招致事業費報酬等    | 263万円     |
| ☆小学校施設整備事業(施設修繕) | 310万円     |
| ☆中学校施設整備事業(施設修繕) | 243万円     |
| ☆中学校教育振興一般事務費    | 246万円     |

## ※スマートインターチェンジ 設置検討業務委託料

# 770万円

### ◎東北中央道スマートIC検討費

東北中央自動車道仮称中川PAにスマートインターチェンジ設置の可能性を検討するもの。スマートインターチェンジの必要性、設置場所及び整備効果等について調査検討を行う。



イメージ図

# 特別委員会 14日 Q&A

## ホストタウン推進 事業

審査の冒頭、市長よりホストタウン推進事業について説明があった。

〈市長〉ホストタウン誘致のきっかけは在バルバドス一等書記官（山形県村山市出身）から市民の方へ宛てられた白鷹山の伝国の辞に関する一通の手紙。市民有志の地道な取り組みをもとにした貴重なご縁を地域活性の千載一遇の機会と捉え、ホストタウンとして取組み、将来の国際交流を目指して、国の認定を受けるべく登録申請をし、7月7日に内閣府からの第四次ホストタウン登録認定を受けた。

ホストタウンの取組みを進める上で重要なことは、南陽市を訪れる外国の方や、選手の皆さんに喜んでいただくことはもちろん、この取組みを通して私たち市民の心と形に残るもの（レガシー）をしっかり創っていくこと。

具体的には、第一にスポーツを通じた健康増進。バルバドス国選手とのオリンピック参加種目は、前回までの大会をみると、陸上、柔道、テニスなど。スポーツ教室の指導や市内スポーツ大会へのゲスト参加などに大きな期待を寄せている。

第二に事前キャンプ誘致による波及効果。県内で認定を受けている他の自治体との一番の違いは、バルバドスまるごと一国を相手とすること。第三は、公

共スポーツ施設の改修。既存のスポーツ施設を各競技の国際競技連盟基準に適合させるために行う改修事業（施設の新設は対象外）として国の支援を受けることができる。

### 松山 利美 議員

◎市長から7月議員全員協議会で、東京オリパラのホストタウン登録で中南米の「バルバドス」に決定したと報告があった。その後、情報がないままいきなり790万円の補正だ。事業内容は。

〈みらい戦略課長〉市長以下5名と通訳の6名で一人当たり60万円の旅費。バルバドス人を通訳として213万円で雇用。嘱託とバルバドス関係者招聘費用の137万円の計402万円は国の1/2補助がある。

◎相手がこちらに来て、南陽市の状況や環境を見て、検討するのが一般的で逆ではないか。最初は事務方が話をするのが通例。市長も行くのは、どういう目的か。

〈みらい戦略課長〉事前キャンプ地の誘致と交流事業の協議を行う。市長と相手国との基本合意の協定を結びたい。◎2020年まで約3年、それまでのタイムスケジュール、財政負担、経済効果は。

〈みらい戦略課長〉リオオリンピックでは選手と役員で30名規模。報道関係者を合わせての宿泊経費並びに事前キャンプ地としての宿泊などの経済効果がある。渡航し協議してみないとわからない。〈市長〉相手国と接触していない段階での事業



バルバドス国旗

費は根拠がうすく経済効果の算定は難しい。◎市長は「身の丈の市政」の中で「財政出動は費用対効果をしっかりと精査をして投資しなければならぬ」と言っている。費用対効果はどうなのか。〈市長〉費用対効果は高い事業だ。オリパラは国の支援を受けて海外との交流ができる。競技施設の改修に補助も受けられ、海外に大きくPRできる。◎一自治体として考えた場合、相互訪問等の莫大な経費は市民の理解は得られない。個別に議論するべきだ。

### 関連

#### 高橋 一郎 議員

◎中南米のハリケーン被害はなかったのか。市民の感触はどうか。

〈市長〉被害はない。ピンとこない感触が多いが、交流を深めていきながら市民の皆さんの機運を高め、醸成していく。

◎バルバドス国に決めた経緯が腑に落ちない。今回は第4次の決定だが、1次募集からホストタウンになりたいと思っていたのか。

〈市長〉受けたかと思っただけだが、具体的に他国とのつながりがなかった。白鷹山の伝国の辞を見学したバルバドス国大使館の書記官からの一通の手紙がきっかけとなって現在にいたった。

◎友好都市でもない。何のために、だれのた

めに行うのか。オリンピック委員会から要請があったのか。

〈市長〉そういった要請はない。

◎メールやスカイプ等でホットラインをつくり、行く前に事前のやりとりをするべきだ。

〈みらい戦略課長〉時差が13時間あり、電話では難しく、現在もメールでバルバドス大使館と連絡している。

◎ホストタウン登録が決定とすれば、渡航しないとわからないのではなく、事前に通訳を通じた折衝の中で予算計上するべき。11月4日から10日間行くのは決まったことなのか。市民にとってより効果の高いものにしていくにはこの補正予算から外して、予算審議を新たにすべきだ。

〈みらい戦略課長〉日程

の10日間は、在バルバドス日本大使館で国の要人と詰めて、ほぼ決まっている。

〈市長〉もっと事前に議会に対し説明をするべきだったと真摯に受け止めている。この度は、バルバドス政府関係者、オリンピック関係者と摺合せをし、互いに確認しているのをご理解いただき、今補正で議決いただきたい。

### 関連

### 佐藤 明 議員

◎今回の問題に限らず全ての対応が遅く説明が不足している。また、交付税の件は理解するが、相手国と相互に確認を行う中で、反故になる可能性もある。先に相手国が確認に来るのが常識ではないか。

〈市長〉議会との情報共有が出来ていなかった。

今後は議会と両輪となって施策を進める。

◎施設整備を行うのか。

〈市長〉今回は無理をしないことを前提に手を挙げた。施設整備は考えていない。

ハイジアを活用した

シニアカフェの運営

### 山口 正雄 議員

◎運営主体及び参加対象者は。

〈福祉課長〉市が実施し、申込受付等はハイジアで行い、ハイジアのウエイトが高い。対象者は、高齢者サロン会員約2000人、老人クラブ会員約600人。

◎事業の内容は。

〈福祉課長〉10月から3月まで毎週水、木曜日の10時から15時を想定し、40回開催する。場所は南陽座と和室。シニアパックとして、入浴、昼食、送迎等を含む

め2000円。うち1

500円は市が補助し、

自己負担は50円。「百歳体操」「健康講座」などの実施や案内を含め、社会福祉協議会（以下、社協という）と調整している。

◎申込みが広範囲。送

迎はどうするのか。

〈福祉課長〉社協で地区ごとの日程割振りを調整し広報したい。

◎ハイジアでの事業を取り仕切る人は。

〈福祉課長〉当初は社協にお願いし、後はハイジアに任せたい。

◎この事業をどうしたいと考えているのか。

〈福祉課長〉閉じこもりや介護予防、相互交流、各団体の活性化などを考えている。また、事業評価し、来年度以降も継続したい。

◎継続するには、事業そのものが楽しい・面

白い・役に立つなどの

内容が必要だ。要は、企画そのものが非常に重要だ。単に、事業をやれば良いというものではないと思う。市長はどうお考えか。

〈市長〉その通りと思う。

実施する中で磨き上げていく。また、先進事例を参考に本市の事業を探っていきたい。

◎また来たいと思える

企画で実施してほしい。

◎会場借上料588万円の算出根拠は。

〈福祉課長〉条例で定める南陽座12万円／4H、和室9千円／2Hを適用して算出した。

◎営業用パンプでの使

用料は、南陽座が10万8千円／4H、和室全室で8千200円／2Hだ。なぜ違うのか。

〈福祉課長〉実際の運用はそうだが、条例上限は12万円と9千円だ。

◎営業上の料金以上に

支払う必要がどこにあるのか。また、内容が同じ公民館事業で借上料はない。市の事業でなぜ発生するのか。

〈福祉課長〉長期間会場

を確保し、ハイジアの営業活動が難しいためこの借上料を支払うのが妥当と考えている。

◎会場借上料が発生するのはどんな場合か。

〈商工観光課長〉飲食を伴わない場合の利用時に発生する。

◎飲食を伴うのに、なぜ借上料を支払うのか。

〈福祉課長〉高齢者の健康増進、ハイジアの有効活用に資するため、こういう仕組みにした。

◎ハイジアへの支援ありきではないか。理解できない。社長として受け取るのか。

〈市長〉市長として、会場を占有する対価を支

払うのは当然のことだ。  
◎そもそも料金は発生しないのではないか。

〈商工観光課長〉長期間

占有でハイジアの運営上、穴があくためいた  
だきたいということだ。

◎食事、入浴以外は公  
民館などでもできる。

市民に説明できるように  
見直しも必要と思う。

◎参加者から新たななり  
びーターになって頂け  
るかが大きな課題と思  
う。企画が良くても、

サービスが悪ければす  
べてダメになる。サー  
ビス向上が進まないの  
は何が問題か。

〈市長〉指導者、社員の  
意識や施設整備など  
様々な問題がある。

◎お客様の企画がつま  
くいくようなサービス  
が必要と思う。ぜひ、  
その体制を作っていた  
だきたい。

〈市長〉今後も継続して

研修をし、支配人、社  
員とも話をしていく。

〈関連〉

高橋 一郎 議員

◎利用の少ない水・木  
曜日に市の事業で使用  
料を支払うのはおかし  
い。

〈市長〉営利法人なので、  
正当な対価を払うのが  
妥当。

◎例えば、寄席を開く  
などの笑いを興じる企  
画に対して支払うのは  
わかるが、使用料を最  
大でとるのは納得いか  
ない。減免しないのか。

〈商工観光課長〉ハイジ  
アでは実績に応じて営  
業の利用料金で請求す  
ることになる。

山口 裕昭 議員

◎ハイジアパークは赤  
字が続き、入場者数も  
前年同期を毎月大幅に

下回っている。支配人  
が変わって5ヶ月が経  
過したが、改善計画は  
提出されているか。

〈商工観光課長〉改善計  
画は提出されている。

◎一般質問でも触れた  
が、健全な経営には適  
切な情報収集による経  
営戦略が必要だ。指導  
をお願いしたい。

佐藤 明 議員

中小企業の現状は

◎中小企業白書では小  
規模事業所ほど厳しい  
統計が出ているが、市  
内の状況はどうか。

〈商工観光課長〉企業動  
向調査によると、4月  
と比較し正規社員の雇  
用状況は下降している  
が、売上や収益、臨時、  
パート等の雇用状況が  
上向いている。

業種間の景況は、  
サービス業・建設業共  
に堅調だが、製造業は

収益面で低調な状況だ。  
◎中小・零細企業は親  
会社の意向に左右され  
総じて低調と聞かす。

〈商工観光課長〉全体と  
して売上の向上が収益  
増になつていない。

◎感覚的に企業の浮き  
沈みが大きいと感じる。  
企業倒産や商店の閉鎖  
などの状況はどうか。

また、どのような援助  
を行っているのか。

〈商工観光課長〉昨年度  
の企業倒産は1件。商  
店の閉鎖件数は統計的  
に増加傾向。援助につ  
いては、春先から商店  
街と話し合いをしながら  
進めている。また、  
国県の助成や補助金に  
ついては、商工会と連  
携し対応している。企  
業の相談窓口としては  
ホームページの活用も  
進めている。

◎市の政策は具体的に  
進んでいるとの認識か。

〈商工観光課長〉現状を  
把握し、事業主の要求  
を政策に反映させてい  
る段階との認識だ。

山口 裕昭 議員

南陽高畠インターチェ  
ンジから本市への誘導

◎11月4日に東北中央  
自動車道の福島大笹生  
から米沢北区間が開通  
し、南陽高畠も首都圏  
から直接アクセスが可  
能になる。30年度中に  
この期間は山形方面に  
向かう観光客は必ず南  
陽高畠で高速を降りる  
必要がある。この機会  
に誘客のための企画は  
考えているか。

〈商工観光課長〉特に考  
えていない。

◎この1年間は南陽市  
にとって観光客を取り  
込む絶好のチャンスだ。  
検討をお願いしたい。

島津善衛門 議員

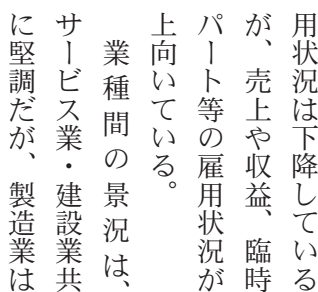
介護保険料

◎介護保険料の滞納率  
と滞納者への対応は。

〈福祉課長〉介護サービ  
スに支障のないように  
最善を尽くしている。  
◎税務課長 収納率は99.5  
%。市税一般ともに高  
水準で推移している。

◎全国で滞納者が増加  
している。30年度より  
第7期が開始される。  
介護保険料は現在(6  
期月額5400円)より  
増額が予想される。  
現在の保険料は負担限  
界と言われており、本  
市での滞納者の増加が  
心配される。慎重な7  
期の策定を望む。

南陽高畠IC



南陽高畠IC

# 特別 決算 委員会 19日 Q&A

歳入

高橋 一郎 議員

## 決算への市長の評価は

◎一般会計実質単年度収支は、3億8428万円の黒字決算だが市長はこれをどう評価しているか。

〈市長〉現在において、健全に持続可能な財政運営が図られていると認識している。

◎実質単年度収支は、3〜4億円が望ましいのか。

〈市長〉財政調整基金にもルールどおり積立して、標準財政規模の20%の積立（16億円）を目標にして財政運営していく。

## 収入減の要因は

◎地方交付税3082

万円の減、法人市民税前年度18.3%5600万円減の要因は。

〈財政課長〉地方交付税の減は28年度除排雪経費等が例年より少なかった。法人市民税は法人税率が26年10月より14.7%から12.1%に変わり、28年度は6月から29年3月までの9カ月分、2.6%の減が影響している。

## 収納率向上の秘訣は

◎市税収納率が前年度比0.7%約2400万円向上したことは大変良いことで評価したい。納税方法の見直し等を行ったのか。

〈税務課長〉分納相談と差押え等滞納処分を効果的に行った。自主的な納税が増えた。

## ふるさと納税増収

◎2億円の増収により返礼品の事務処理も増加するが、現状の体制

で行うのか。

〈商工観光課長〉当分は、現行のまま直営でやっていく。

◎商品やサービスについて新たなメニューを企画しているか。

〈商工観光課長〉常に募集している。業者を回って発掘し商品でできるだけ多くしたい。

◎市長独自に新たな商品開発を考えているか。

〈市長〉現時点ではないが企業訪問などを通して発掘していきたい。



佐藤 明 議員

## 財政状況分析は

◎県内各市と比較して本市はどのような状況なのか。

〈市長〉学校耐震化、文

化会館と大型事業が続き、将来負担比率は高

水準。公債費を圧縮しながらも市民生活に必要なところは配慮する。

◎庁内ではどのように分析しているか。

〈財政課長〉類似団体と比較をし、南陽市の特性を決算統計、財務諸表と合わせて読み取る。分析の作業をしている。まとまり次第市報で報告する。

◎毎年分析をしても良くなかない。監査委員の意見書では財政力指数は低く、経常収支比率は高い。バブル時代と変わらない財政状況をどう改善するのか。

〈市長〉社会保障、義務的経費が上がらざるを得ない状況で、いかにそれを全体の中で抑えていくかが課題。

〈財政課長〉ハイジア

パーク、体育館の大型

事業の地方債の償還が

終了し、地方債残高は下がっていく。将来負担比率も突出してはいない。

◎将来につけを残さないようにすべきだ。

〈市長〉全くそのとおりだ。段々状況は良くなっている。つけを残さずに市の発展を図っていくさじ加減が難しい。投資や拡張など民間の力を呼び込むとともに地方債の償還を進め、安心して暮らせる南陽市にしていきたい。

歳出

高橋 一郎 議員

## やすらぎ荘の委託先は

◎民間委託先は決定したか。

〈福祉課長〉民間から募集しているが、決まっていない。業者を2市2町を中心に募集していきたい。

◎計画年度は変わるのか。

〈福祉課長〉置賜広域行政事務組合から32年度に民間委託することは変わっていない。



やすらぎ荘

障がい者支援A型事業 ◎国県の補助金は減額されているのか。

〈福祉課長〉変わっていない。

◎ある事業所は経営が成り立っていない話聞いたが。

〈福祉課長〉労働基準監督署から労働時間に見合った賃金支払いの是

正指導があったとは聞いているが、経営困難とは聞いていない。

### 3人っ子施策の実績は

◎3人っ子ハッピーサポート事業で第3子は増えているか。

〈すこやか子育て課長〉

この2年間で横ばいなので、少子化の中での効果はあると思う。

◎3人っ子施策もいいが、子育てよりも結婚、出産ができるような施策が大事ではないか。

〈市長〉国、県も少子化

対策でそこを重視している。本市も企業間、団体間での交流事業を展開し、結婚から出産まで一連の支援を今後進めていく。

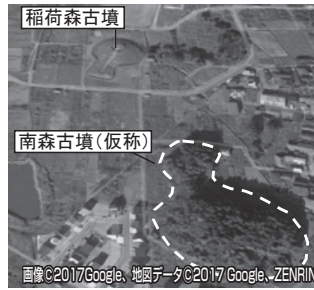
◎たとえば、地元で頑張っている消防団などにスポットをあてるなど幅を広げ、市内に限らず広域的視野で行ってもらいたい。

### 仮称「南森古墳」

◎稲荷森古墳の南側は古墳ではないのか。

〈社会教育課長〉仮称

「南森古墳」は28年度から調査中。確定ではないが前方後円墳らしいと文化庁に報告した。今後は学術的な指導を得ることが必要。



南森古墳（仮称）

佐藤 明 議員

### こぼと保育園の民営化

◎昨年の質問時、30年4月からの民営化を目指すとの答弁だった。先日、文教厚生常任委員会では白紙に戻すと聞いたが。

〈市長〉来年の4月開園は困難で延期という意

味合いだ。

◎いつまでの延期か。

〈市長〉32年の4月開園を目標に進めている。

◎今までのような取り組みを行ったのか。

〈すこやか子育て課長〉

今年5月文教厚生常任委員会、30年4月開園に向け運営法人の募集内容を説明。6月に保護者説明会を経て運営者の公募を行い、7月には候補法人を選定した。施設について総合的に検討した結果、予想以上に老朽化が進んでおり、また0歳児保育を行う際の間取りや駐車場スペースの問題もあり、改修は困難と判断し9月13日に保護者に説明した。

◎説明会ではどのような内容の話があったか。

〈すこやか子育て課長〉説明会には15名の保護者が出席され、なぜ事

前に把握出来なかったのかとの声があった。32年4月までは現状通りで運営と説明したところ、支障がないようにしてほしいと要望があった。

◎延期についての保護者の意見は。

〈すこやか子育て課長〉可否の話は出ていない。

◎私は民営化には反対だが、待望している人もいる。延期の理由と責任は。

〈市長〉延期の責任は自分であり、大変申し訳ない。今回は民営化が前提ではなく、沖郷地区で未満児保育を行うことが主目的なので、今後遅れないようにしたい。

◎決めた事をしっかり行う事が行政の役割だ。民営化が前提ではないと言いが、本来は民営化ではなく自治体や国

が運営すべき。金がないから行政改革というが、こぼと保育園が民営化されると公設の保育所がなくなる。保育を受ける権利を奪うことにならないか。

〈市長〉民営化でサービ

スが低下する訳ではない事例もある。保護者に安心していただける保育の環境整備を行う。

◎昨年入場料が無料になり、多くの方が来場。小中学生の鑑賞は例年通り行われたか。

〈商工観光課長〉小学生は行ったが、中学生は鑑賞しなかった。今年

も声がけは行う。

◎南陽の菊まつりの歴史と伝統を学ぶためにも、鑑賞してほしい。



こぼと保育園

板垣致江子 議員

### 菊まつり

◎「指さしブック」の有効活用のためしっかりとした研修を。

〈商工観光課長〉観光協会の「おもてなし指さしブック」の作成と研修。山形バリアフリー観光センターの「心のバリアフリーガイドブック」の作成と講演会経費など。

も声がけは行う。

◎南陽の菊まつりの歴史と伝統を学ぶためにも、鑑賞してほしい。



菊まつり宮内会場周辺

### インバウンド推進事業

◎外国人・障がい者等対応ボランティア養成事業の主なもの。

〈商工観光課長〉観光協

会の「おもてなし指さしブック」の作成と研修。山形バリアフリー

観光センターの「心のバリアフリーガイドブック」の作成と講演会経費など。

◎「指さしブック」の有効活用のためしっかりとした研修を。



# 一般質問と答弁要旨



高橋 一郎 議員

## ● 温泉掘削を起爆剤にしたまち興し ● まちのシンボルに温泉施設の建設

### 温泉活用まちづくり

#### 温泉掘削

◎ 赤湯温泉、森の山源泉2号の状況が良くない。温度も下がってきている。このピンチをチャンスにするために新たに源泉掘削を。

〈市長〉森の山1号、2号源泉は吉野川の伏流水を取水し井戸に注ぎ、源泉が他に流れないようにして確保している源泉。新たな源泉の掘削を行っても安定供給できるかは不透明。現時点では、ケーシング工事について準備ができてきた対応していきたい。

#### 湯河原源泉の活用

◎ 40℃/分の捨てている余り湯を赤湯ふたば保育園、赤湯幼稚園などに給湯できないか。

〈市長〉昨年末から冬期間において、烏帽子の湯駐車場の消雪に利用

している。赤湯幼稚園等の施設への供給については、目的や効果等を含め研究する。

#### ハイジア源泉の掘削

◎ 枯湯の懸念もあるので、新たに市の用地に源泉を掘削してはどうか。借地料が不要となり投下資本も将来的には改修できると思う。

〈市長〉ハイジアパーク南陽近隣の民間地で掘削した際に、必要量を確保するほどの温泉は出なかった。近隣に市有地もないが、将来のハイジアパーク南陽のあり方と合わせて検討していく。

#### 温泉施設の建設

◎ 観光客も入浴できる温泉施設を旧市民会館跡地に建設するのは。

〈市長〉いこいの家と公衆浴場の統合については、担当部署に指示をしている。



山口 裕昭 議員

## ● 市民生活を守るため除雪の充実を ● 市長の考える南陽市の未来像とは

### 除雪について

◎ 市長は昨年より間口除雪を廃し「きめ細やかな除雪」を行うとしたが日中の除雪が増えたように思えない。

〈市長〉昨年の一斉除雪実績は、早朝9回日中6回の計15回だ。部分除雪は31回で合計46回の出動だった。出動は市内7地区の観測所で午前2時30分

に観測し、12月〜2月の間は、新雪10cm3月は15cmが基準だが、迷った際は出動が基本だ。◎ 除雪に来る時間が遅く小学生の通学など生活に影響が出ている。

また、車道・歩道間や、交差点角の雪の高積みは非常に危険だ。

〈建設課長〉時間は路線変更も含め調整する。交差点の雪の高積みは、しないよう指導する。

◎ 車道・歩道間の雪は、

子供の目線の高さを目安に排雪してほしい。

◎ 市長の考える本市の将来像について

◎ 市長の考える本市の将来像を具体的に教えていただきたい。

〈市長〉市民が幸せに暮らせる南陽市を理想とす、次世代に繋げて行くために教育と防災に力を入れ、何よりもまず人づくりを進める。

◎ 目指す目標が不明確な組織は機能しない。具体的にお願したい。〈市長〉市の立地条件を活かし、広域に連携をする市を目指す。

◎ 実現には多様な情報の収集解析が必要。現在市が持つ情報の有効利用も含め検討すべき。〈市長〉データの重要性は承知している。

◎ ぜひ、今後市長には夢を語り目指す場所を市民と共有してほしい。

※ ケーシング工事…裸孔（ドリル掘削のままの状態）を鉄管などで囲い保護する工事。



山口 正雄 議員

# ● 将来的な財政見通しは！ ● 保育料を軽減する考えは！ ● 団地造成・企業誘致を広域的に進めるべきでは！

◎28年度決算を受けての財政見通しは。

〈市長〉実質公債費比率、将来負担比率とも改善傾向にあり、収支がすぶにとれなくなることはないが、見通しは厳しいので、引き続き行財政改革に取り組む。

◎昨年2月の公表では33年から収支がとれないとあったが、その時期はどのくらい後になるのか伸びるのか。

〈財政課長 概ね2〜3年延びると考えている。

◎健全財政維持のため引き続き、収入の確保と支出抑制を取り組んで欲しい。

◎保育型の保育料が近隣市町と比較し高い。

引き下げる考えは。

〈市長〉子どもを産み育てやすいよう更なる軽減策を検討していく。

◎3人目無料化で所得制限は本市だけ。見直

す考えは。

〈市長〉子育て世帯で、経済的負担感の重いところに、重点的に軽減策を実施している。

◎団地造成と企業誘致の基本的な考え方は。

〈市長〉地盤が強固で、交通アクセスに優れ、利便性の高い場所を選定するため、関係機関と検討を進めていく。

◎人口減少、雇用創出、財政の厳しさは各自治体が直面する共通課題だからこそ将来的に団地造成や企業誘致は広域的に進めるべきでは。

〈市長〉力を合わせてやるのは良いが、最大の問題は税収の問題だ。

◎地方自治法では、首長の合意で、税収還元可能な方法もある。

〈市長〉首長間の合意、各議会の承認など、相当ハードルが高く、慎重に検討すべき事案だ。



島津善衛門 議員

# ● 獣害(イノシシ)に悲鳴！対策は？ ● 空き家対策 視点を広げた対応！

獣害対策(イノシシ)

◎鳥獣の異常な繁殖や行動範囲の拡大により、住環境が脅かされている。今後の取組みは。

〈市長〉「鳥獣被害防止計画」を作成し、「鳥獣被害対策実施隊」を委嘱し、被害対策を実施している。農作物の被害報告があつた場合は、農林課で現場調査を実施しており、被害状況に応じて、猟友会と連携し対応している。

また、「鳥獣被害防止対策協議会」を設置し、構成団体である赤湯猟友会やJAおきたま、共済組合等の関係団体との情報共有や、被害防止対策についての協議を行っている。

今後は、大学や国、民間の研究機関の方を招いて、専門的な助言をいただきながら、研修会等を開催するほか、

その地域を熟知し、有効な対策を立てることが

できる方をリーダーとする被害防止対策を進めることが、最良の方法と考えている。

空き家対策

◎人口減少問題や福祉また、防災や移住促進等に対する空き家の利活用の施策は。

〈市長〉売却・賃貸の場合、宅建業法に基づく契約が有効な方法であり、推奨していく。

空き家対策と人口減少対策がリンクしている施策には「子育て世代定住促進交付金」があり、中古住宅の取得も交付対象としている。

◎総務省の「移住定住促進」、国交省の「住宅確保要配慮者」への「セーフティネット住宅」としての活用や他の行政機関等を参照・研究し、早急に対処すべき。



片平 志朗 議員

## ● 文化会館建設時の伐採地は植林したのか ● 「森林認証制度」の取組みは

◎伐採面積、植林の状況は。

〈市長〉伐採箇所は14カ所、面積は25・44ha、樹種は杉と唐松。植栽が杉1箇所、唐松1箇所となつている。その他は「萌芽更新または天然下種更新」。

◎植林は全体の3割にも満たない。請負業者との契約では植林が条件となつているはずだが、今後の対策はどうするのか。

〈市長〉再造林計画については、森林所有者の選択によるが、「天然更新」でも、森林の保全と再生に繋がるものと考えている。

◎天然更新とは何もしないで自然に任せるといふことで、その結果日本の山林は荒廃したのではないか。保全と再生に対する意識が低いと言わざるを得ない。

◎市有山林の「森林認証制度」の意向は。

〈市長〉この認証制度は「森林の管理経営」「生産・流通・加工業者」それぞれが認証を取得する必要がある。現状では市内はもとより置賜地域でこれらの連携が確立されていない。

「森林認証制度」の取得は現時点では考えていない。

◎「森林認証制度」は日本でスタートしてから日が浅く、認証された面積も全国森林の8%だ。認証にあたっては越えなければならぬハードルはある。しかし、国は2020年

東京オリンピックにこの認証材の利用を推奨している。国産材のブランド化にも繋がるのではないか。行政自ら先駆的役割を果たすよう強く要望する。



川合 猛 議員

## ● ラーメンマップ増刷入札結果 ● 台湾へのトップセールス成果は

◎ラーメンマップ増刷入札結果とその経過は。

〈市長〉7月18日に「なんようしのらーめん」のマップ印刷業務として、市内業者4社による指名競争入札を南陽市役所ラーメン課R&Rプロジェクト実行委員会の執行により実施。6月定例会の補正予算審議の提案をもとに十分な検討を行い実施したが、9000部増刷分としての設定予定価格を、各社の入札価格が上回つたため、当初の1000部を作成した芸工大に、実行委員会より増刷を発注している。

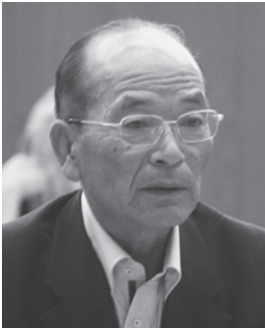
◎はじめに芸工大ありきではないのか。丸投げしていると思えない。多くの予算を使うのだから、ラーメンを通しての交流人口の拡大、まちおこしの成果をきっちり検証す

べきだ。

◎台湾へのトップセールス成果と経済効果は。

〈市長〉台湾からの旅行商品として、桜鑑賞ツアーとの2つを企画。来ていただいた観光客数は230名余り。市内における経済効果は160万円と試算している。個人の観光客も数多く本市を訪れている。9月の赤湯温泉ふるさと祭りに参加する台湾の方は総勢62名で、4泊5日の行程で赤湯温泉に宿泊する。この経済効果は1200万円と試算している。全国で2000万人以上いる外国人観光客の中、東北は100万人をようやく超える。山形県は10万人置賜地域60000人ほどと低い状況。トップセールの必要性を強く感じている。

※1 天然更新…植林にたよらずに天然力で後継樹を仕立てるもの。  
※2 森林認証制度…1993年設立された認証制度で、持続可能な森林の利用と保護を図ろうとするもの。



高橋 篤議員

## ● 来年の市長選2期目の出馬は？ ● 免許証自主返納者への取り組みは

◎市長就任後、選挙公約に対しての実績は。

〈市長〉身の丈にあった市政、対話のある市政を基本姿勢に「子どもを産み育てやすいまち」「年をとつても安心して暮らせるまち」の実現に向け取り組んできました。3年間で全て着手し、多くの公約については実現できたと思っている。しかし、まだ途中のものもある。で任期中に前進したい。

◎就任3年間での問題点や反省は。

〈市長〉3年間職務遂行にあたり、自問自答と試行錯誤の連続で、行き届かない点もあった。政策的な意思決定と、果断と丁寧さを更に心がけていく。

◎市長選挙出馬への意向は。

〈市長〉市政の発展と市

民福祉向上のため、全身全霊をもって市政運営を行ってきた。個人的な夢であるが、子ども達が「将来市長になりたい」と思うような政治を実現したい。若さと情熱をもって、来年の市長選への立候補を表明する。

◎高齢者の免許証自主返納の状況と今後の助成の取り組みは。

〈市長〉26年36名、27年68名、28年77名、29年は7月末で54名が返納している。助成に対しては、来年4月からの実施に向け支援方法を検討している。

◎交通手段のない地域に対し、今後の対応は。

〈市長〉真に必要とする地域交通を目指した主体的な取り組みを支援していく。



佐藤 明議員

## 「介護を社会的に支える」という 当初の理念に立ち返った制度に

◎参院本会議において「改正」介護保険法が与党の賛成多数で可決成立した。今回の「改正」は、介護保険法を含む31本の法「改正」を一本に束ねた一括法として提案されたが、市の第7期「改正」にどのような対応されるか。

〈市長〉介護保険事業計画は、3年毎に見直すことが義務付けられている。本市においても、実施期間を30年度から32年度とする、第7期計画を策定しているところだ。第7期計画も改正法の趣旨に沿ったものにする必要があると考えている。一方で、地域の独自性を活かしたものにするため、各分野の専門家や介護従事者などで構成する策定委員会からのご意見などを頂戴しながら、

サービスの内容や被保険者の負担、行政コストなどの観点からバランスのとれたものを策定したいと考えている。

◎介護保険は、地域の実情や介護従事者などの意見、要望などを十分に聞き取り、今までの第1期から第6期までの良かった点、悪かった点などを総括しながら対応すべきでは。

〈市長〉今後十分策定委員会などで検討して参りたい。

◎高齢化が一層進むなか、介護保障の充実は、すべての高齢者・国民の願いである。「介護を社会的に支える」という当初の制度の理念に立ち返った、現行介護保険の抜本改革が必要であることを強く指摘しておきたい。

# 地方財政の充実強化を 求める請願は採択



◆南陽市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

一人の子について、育児休業の再度の取得等を可能とする特別の事情を追加。具体的には「保育所等における保育の利用を希望し、申し込みを行っているが当面その実施が行なわれないこと」いわゆる待機児童が特別の事情に追加された。

(1) 再度の育児休業取得  
(2) 育児休業期間の再度の延長

(3) 育児短時間勤務終了から1年経過していない再度の育児短時間勤務

審査の結果、全員異議なく可決した。

◆地方財政の充実強化を求める請願

社会保障・環境保全  
地域交通確保・人口減

対策・東日本大震災避難者対策など一般財源総額の確保・子育て支援・医療と介護・福祉の「地域包括生活ケアシステム」など社会保障予算の確保・地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化などを強く求めるもの。

## 行政視察レポート

7月4日～6日

北海道札幌市・恵庭市・

北広島市

◆「札幌市モエレ沼公園」

昭和48年に計画、平成17年完成。その間市長も何代も代わったが継続して取り組んだ。ゴミ処理場として用地を取得、公共事業等で発生した建築残土など約270万tのゴミを埋め立てて公園化した。世

界的に著名な彫刻家イサム・ノグチがプロデュース。マスタープランを作成。公園の象徴であるモニュメントはガラスのピラミッドで、高さ32.3m、ガラス面積は延べ2483㎡。施設内にはレストラン、ギャラリーショップ、公園管理事務所が入っており、施設内の冷房システムとして毎年3月に公園内の雪を貯蔵庫に蓄え、6月から9月の夏期にガラスのピラミッド館内を雪冷房している。使用する雪の量は1735t、年間30.8tのCO<sub>2</sub>を削減している。ゴミ処理場跡地とは思えない自然と芸術の融合した景観を楽しめる素晴らしい公園だった。

◆「恵庭市ルルマップ  
自然公園ふれらんど」

都市と農村の交流の

場として市が計画整備。面積32.4ha、パークゴルフコースが54ホールあり民間の業者が運営。農園広場は市民農園として130区画を貸し出している。平日でも多くの人が楽しんでる施設であった。

◆「北広島市定住促進事業」

23年の5次総合計画に「すみたくなる地域づくりプロジェクト」を位置づけ、市外からの移住を促進する方針を示す。26年より「ファミリーホーム事業」「おためし移住事業」シティーセールスの推進に取り組む、市のPRを図った。ユニークな取り組みとして、次世代を担う子供たちに向け「子供夢チャレンジ応援事業」がある。昨年より実施、中学生3人の将来の夢実現に向

け応援。1人はイタリアでバレエを学ばせ、2人目はプロゴルフファーを目指し沖縄に派遣、3人目はバリスタを目指しコーヒー専門店に派遣した。今年 は落語家を目指し稽古に通っており、50万円を上限に応援している。

総合戦略立案時は全てに渡り若手職員で構成タテ割りではない。プロジェクトを立ち上げ、色々なアイデアを出させ、下からのボトムアップで事業化している。今最も力を入れているのが、プロ野球の日本ハム球団を誘致すること。数百億円をかけ、日本ハムボールパーク構想を球団に提案、実現に向け市民と一体になり誘致活動に全力を上げている。

(委員長 川合 猛)

# こばと保育園の未満児保育対応による 民営化時期の変更について



委員会報告

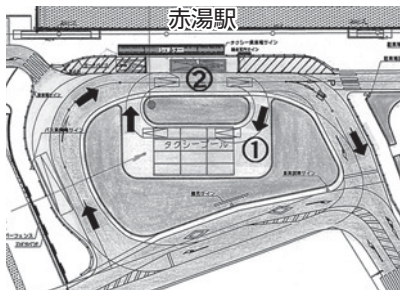
付託議案なし

行政報告

〈市民課〉赤湯駅東口の駅前交流広場の有効利用(10月16日より)

◆現在のタクシー待機場所の変更及び一般車両一時停車帯の拡大  
◆旅館送迎車専用の待機場所

以上2点の計画案が示され、一般車両の安全確保及び有効活用を図りたいとの説明があった。



①はタクシープール ②はタクシー乗り場

〈すこやか子育て課〉

こばと保育園の未満児保育受入れ実施時期

30年4月より民営化に移行するため、現在の保育所を改修整備する方向だったが

①改修費用が予想以上だった。  
②未満児保育の将来の定員増に柔軟に対応できない。

以上2点の見解を示した上で、30年に沖郷地区内に新たに市で土地を求め、32年4月開園を目指す。

建屋については民間法人が建設を行う計画。民間法人は公募を実施し選定する。新築開園までは現在の施設を継続して使用し、そのままの体制で保育を行う。保護者及び関係者には丁寧な説明を行うとの報告があった。

行政視察レポート

7月3日～5日

愛知県大山市、静岡県藤枝市・三島市

◆「大山市歴史的風致維持向上事業」

国宝犬山城を中心とした、城下町を守る登録有形文化財建造物の修理、復元に係る事業費を補助し、町並み環境整備事業や貴重な歴史的資産の保存・活用に資する都市公園整備の支援をしている。登録有形文化財建造物の登録件数は156棟あり、半数以上が城下町地区に集中しており、建築年が江戸時代27棟、明治時代19棟、大正時代4棟など、貴重な建造物がある。しかし、それらを維持していく苦労もあることから、10年間以上の一般公開を行うもの限り、直接

補助1/2、間接補助1/2か1/3のいずれか低い額の補助をしている。



犬山市議会ビアンキ・アンソニー議長(右端)とともに

◆「藤枝市健康・予防日本一推進への取り組み」

市民・事業者・行政が一体となって守る健康、創る健康として、自治会の枠組みで地域から10000人の健康委員が活動しており、健康づくりに取り組んでいる。具体的には、健康寿命を延ばそうから始まったもので、市

民が幸せな健康生活を少しでも長く続けられるまちを重点戦略としている。

◆「三島市健康都市づくり」

少子高齢化が進むなか、高齢者の健康維持と地域産業の活性化を図るため、市民が気軽にウォーキングを楽しめるコースを設定したり、(株)タニタとの協働事業の展開で、運動とヘルシー食とのコラボなど、社会参加の場所づくりに取り組んでいる。健康マイレージのポイント数による様々な特典などの仕掛けで健康に無関心な層にも広げていく努力も行っていった。本市においても楽しんで健康長寿に向けた取り組みを更に推進して行くことが肝要と感じた。

(委員長 白鳥 雅巳)

# 有害獣畜駆除で本市の対応は不十分 ハイジアパークの接遇を改善せよ!



## 委員会報告

付託議案なし

## 行政報告

◎有害獣畜駆除は、猟友会に依頼しているが他市町と比べて駆除代が安い。補助金の安さで猟友会が壊れないように本気の取り組みを。へ農林課長 県の補助の活用をPRしていく。

◎草刈りや木の伐採をして緩衝地帯を設け、イノシシ、サル、クマが来れないように棲み分けすることを要望。

◎ハイジアパーク南陽の接遇が全くだめだ。指導しているのか。

へ商工観光課長へ接遇研修を9月4日に実施した。1回だけでなく働いているところをチェックするよう支配人と話し合う。

## 行政視察レポート

7月12、14日

北海道七飯町・北斗市

◆「七飯町特産物のブランド化、6次産業の状況と今後」

函館市から北西に16km車で30分の北海道渡島半島の南部に位置し、人口2万8千人の町。年平均気温が8℃前後で降水量は比較的少なく、道内では温暖で四季の区別がはっきり感じられ函館市のベッドタウン。

6次産業では七飯町産りんご「ほおずり」を用いたプレザーブ商品（果物の原形をとどめているジャム）や冷凍



イザベラ・バード標識

食品タルト・オ・ポムの開発・製造・販売を農商工連携で通年販売可能な土産品のブランド化に取り組んでいた。

シャキツとした触感を実現するために3000万円のレトルト釜を導入し「ほおずり」の酸味を活かした加工による商品の差別化に心意気を感じた。大沼国定公園の大沼湖畔には英国人旅行家イザベラ・バードが訪れた標識があり、驚いた。

◆「北斗市観光と観光協会の位置づけ」

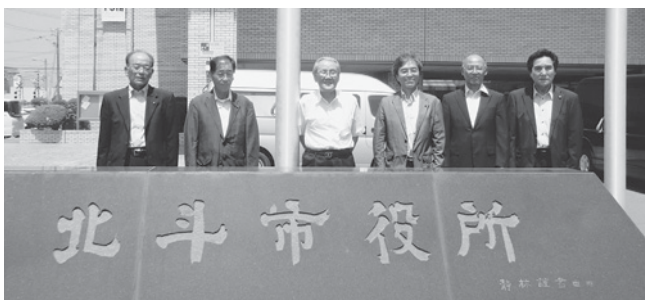
南部は函館湾に接し、南東部は函館市に隣接。気候は七飯町と同じく比較的温暖。18年2月に上磯町と大野町が合併し北斗市に。人口4万7千人で北海道新幹線の新函館北斗駅があり、南北海道の玄関口。集客に向けたプロジェ

クとして①きじひき高原（新駅から車で15分、パノラマ展望台からは函館山、大沼、駒ヶ岳を一望できる）の誘客促進

②桜回廊事業の推進  
③スポーツ合宿の誘致  
24年を観光振興元年として6年目。精力的な活動が光る。北斗市観光協会は26年12月に一般社団法人として設立。北斗市観光案内所

きじひき高原の施設運営と市の指定管理業務として観光交流センター本館と別館の管理運営を展開。パートを含めた職員18人、運営管理補助4800万円（内3000万円は人件費）及び指定管理料4500万円と人もお金もかけている。

（委員長 高橋 一郎）



きじひき高原

# 広域議会報告

## 置賜広域病院 企業団

議会の全員協議会は8月25日午後2時より公立置賜総合病院に新設された研修棟内の研修室で開催された。

企業長体制がスタートして5ヶ月が経過し  
①病院企業団長期基本戦略の策定や病棟再編

②精神科病床の集約と機能強化等  
について企業団と議会側で活発な意見の交換をした。

### ◎精神科病床の再編

長井病院では、次の2点が課題となっている。

- ①一般病棟の耐震性の不足
- ②施設設備の老朽化に

よる療養環境の悪化  
その整備方針や保有すべき医療機能について検討した。

精神科については、長期入院患者の退院促進や地域移行の国策等を踏まえ、総合病院5階西病棟に総合病院と長井病院の精神科病床を集約し、合併急性期機能を強化する方向性が長期基本戦略に盛り込まれることとなっている。

### ◎7(患者)対1(看護師)の看護体制へ

より質の高い看護を提供するため、医療の安全性の向上・職員の負担軽減等を考慮して、現在の10(患者)対1(看護師)から7対1看護体制へスピードをもって移行する。

### ◎南陽病院の改築

(31年度開院予定)

老朽化のため南陽病院を改築する。

- ・鉄筋コンクリート造 2階建・50床
  - ・総事業費21億円余
- 関連する補正予算等については、来る10月定例議会で審議する。(置病議員 殿岡和郎)



南陽病院北側の建設予定地



## 研修会レポート

### 山形県市議会議長会

#### 議員研修会

8月8日、山形ビッグウイングにて議員研修会が開催された。  
講師は東京大学名誉教授の月尾嘉男氏。

YBCラジオ「日本全国8時です」への出演や、地域振興と環境保護のため、地域の人々と釧路湿原塾、羊蹄山麓塾、信越仰山塾、瀬戸内海塾などを主宰。  
演題は「都市の魅力再生とインバウンド化」

- ①インバウンド小国・日本
- ②明治から150年の時代変化
- ③アメリカの時代変化
- ④経済大国から文化大国への転換
- ⑤実行してはいけない政府依存
- ⑥実行してはいけない

### 流行追随

⑦多様化による文化大国から文化大県への転換

⑧インバウンドの魅力  
資源は足元の宝物  
(クラゲ・流水・地吹雪・豪雪・地方鉄道・ノラ猫・農村文化・極限の過疎)

の各テーマで詳細な説明を受けた。

最後に『魅力資源の原石は足元にある。磨き方と磨く人を創ることが重要』と締めくくられた講演だった。  
(島津善衛門)

### 置賜3市議員研修会

8月18日、米沢市伝国の杜を会場に、国土交通省都市局都市計画課の山田大輔課長補佐を迎え、3市議員研修会が行われた。

今年、「まちの持続的な『発展』に向けて」

をテーマとし、将来の都市経営戦略として「立地適正化計画」の作成における立案と、その実践についての内容を、経験談を基に実務的な内容に踏み込んだ講演だった。

講師の先生は26年から2年間、建設専門官として東北地方整備局に勤務された経験を持つため東北地方の諸事情に精通しており、行政の立場を超えたボランティア活動の中から感じた事など多くの事例を交え紹介された。

「民間も公務員も市民も大事なコンテンツ」であり、「人が変わればまちも変わる」という印象的な言葉で締めくくられた実学と呼べる内容の講演だった。

(山口 裕昭)



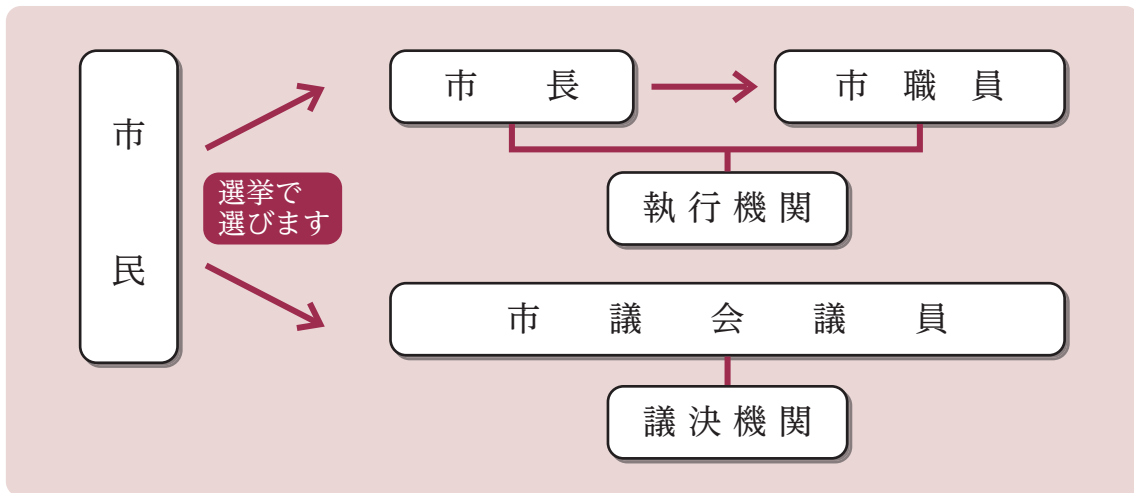


# 議会ってな〜に?!



市議会の役割や仕組みなどについて、  
わかりやすく掲載してまいります。

## 第1回 市政と市議会について



南陽市では、住みやすいまちづくりをはじめ、子どもたちが通う保育園や学校、高齢者や障がい者のための福祉施策、道路、水道、農工商業など様々な分野で、市民生活に深く関わる仕事をしています。これを「市政」といいます。

これらの仕事には、市民の皆様の意見が十分反映されなければなりません。しかし、市民すべてが一堂に会して市政運営について話し合うことは不可能です。そのため、市民の代表として市長や市議会議員を選挙で選び、市政運営を委ねています。

これを「二元代表制」と言います。

市議会は、市長が提案する予算、条例などを決定したり、市政が適正に行われているかチェックしたりする機関で「議決機関」と言います。

市議会の議決に基づいて仕事を行うのが市長をトップとする行政で「執行機関」と言います。

市長と市議会は、まったく対等の立場に立って尊重し、議論しながら明るく住みよい南陽市をつくるために努力しています。

# こうなあってほしい南陽市

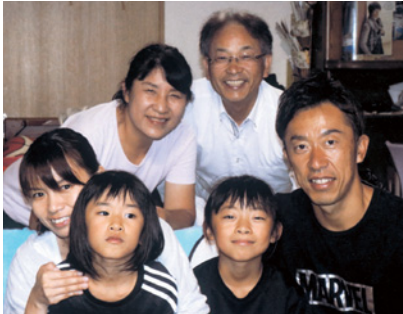
## 子育てするなら南陽市

南陽市中川 高橋 忠彦

3世代同居している6人家族です。孫2人は小学生でスポ少や習い事を一生懸命しています。私は、忙しい若夫婦の子育てを応援しています。

食事の時などで子育てについて「もっと支援が充実していればいいのになあー。」と、次のことが話題になりました。

- ・高校生まで医療費が無料であること。



・チャイルドシートやベビーカーなどが無償で借りられること

・子ども手当は所得制限を無くして全ての世帯を対象に支給すること。(更なる増額)

子どもを生んでからの行政の支援は非常に助かります。

少子化軽減策としても、「子育てするなら南陽市」という特色を更に出せるよう、これまでに以上に支援の充実をお願い致します。

## 市議会議員との親善ソフトボール

宮内中学校ソフトボール部 二年 加藤 綾乃

8月10日、市議会議員さんと親善試合を行いました。新チームになって初めての試合で最初は不安がありました。しかし、議員の皆さんが盛り上げてくださったので笑顔で試合をすることができました。

私達は、三年生が引退し11人で活動しています。細かいルールが分からないなど、まだまだ課題があります。

だから、たくさんの実戦経験を積みたと思います。これからの練習試合や大会で多くのことを経験し、新人戦では満足のいくプレーができるように頑張りたいです。そして、

試合中は仲間と共に声を出して楽しめるようにしたいです。

今回は二つです。

一つ目は全力でプレーすることです。失敗を恐れず堂々とプレーすることが大切だと改めて学びました。

二つ目はどんな状況でも声を出して盛り上げるということです。



ミスを連発したときに声を出すことは、勝利にもつながると思います。親善試合で学んだことを生かし、新人戦に向けて頑張りたいです。

## 編集後記

山形名物「芋煮」のシーズン到来。芋煮の食材消費では山形市民が全国一を誇る。

河原で釜戸をつくり、みんなで準備して食べる味は、様々な味が浸み込み、何とも言えないものがある。

隣国のミサイル発射や核実験で緊迫する情勢を一刻も早く平和的に解決され、安心していつものように、語りあい、笑い合って、舌鼓を打ちながら山形の味を満喫したいものです。

(山口 正雄)

- 委員長 山口 正雄
- 副委員長 川合 猛
- 委員 山口 裕昭
- 島津善衛門
- 高橋 一郎
- 板垣致江子